

福岡市管工事協同組合
理事長 藤 成徳 様

福岡市水道事業管理者
(配水部整備推進課)

節水への協力について(お願い)

福岡市管工事協同組合の皆様におかれましては、日頃から水道事業へのご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

筑後川流域では梅雨明け以降の少雨傾向により、関連ダムの貯水率が低下しており、今後とも少雨が続いた場合には、本市全体の水源状況も厳しくなってくることが考えられるため、福岡市では9月 17 日に「福岡市渇水対策会議」を設置し、市民への節水の呼びかけに努めているところでございます。

このような状況を踏まえ、福岡市水道局といたしましては、当面の間、工事後の洗管水量のできる限りの抑制を図り、より一層の節水に努めたいと考えております。

組合員の皆様におかれましては、日頃より、布設工事における砂等の混入防止対策に努めておられることとは存じますが、工事後の洗管水量の抑制を図るため、より一層の砂等の混入防止対策に努めていただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、工事後の路面清掃時や資機材洗浄時などにおきましても、節水に心がけていただくとともに、限りある資源である水を大切に使用していただきますようお願いいたします。

つきましては、貴団体傘下の会員の方々へ周知のほどお願いいたします。

記

1. 添付資料:砂等の混入防止対策事例

【問い合わせ先】

福岡市水道局配水部整備推進課 高田、星隈
TEL : 092-483-3145

砂等の混入防止対策事例

1. 着手前

- 施工計画書に砂等の混入防止に対する管理方法を明記する。
 - ・ 材料管理、管内確認および管口処理方法などを明記する。
 - ・ 管理方法を明記することで、発注者および請負者の自覚に繋がる。

2. 材料管理

- 管材料保管場所では、材料搬入時に付属している管口キャップを管接合まで外さない。
 - ・ 風雨や工事車両移動によるゴミ、土砂などの混入防止に努める。



（資材置き場）直管



（資材置き場）異形管

3. 管布設時における混入防止対策

- 据付前および作業完了後には、管口処理を行う。
 - ・ 管吊降ろし、管接合前の掘削内移動時に、土砂混入の可能性が大きい。
 - ・ 管口処理が、布設中や埋め戻し後の土砂、および湧き水などの混入防止となる。
 - ・ 布設開始前に、前日布設した管内を再確認する。
 - ・ 給水分岐の穿孔は、管据付前に行い鉄屑の除去を確実に行う。

(参考:キャップによる管口処理状況)



(キャップ取り付け)



(キャップ取り付け)



(受口処理) 据付前



(挿し口処理) 据付前

- 湧水の多い箇所などは、監督員指示の下、栓および帽を取り付け、土砂流入に備える。
 - ・栓・帽を取り付けることで、確実に混入を防ぐことが可能。
 - ・栓・帽取り付けの場合、材料費を設計計上する。
- 大口径管の管口処理は、木および鉄製の仮蓋などを作成し土砂混入防止に努める。
 - ・大口径管は出庫時のキャップも無いため、作業完了後は仮蓋を設置しポリスリーブの重ね代(余裕分)を束ね、テープを巻くなどの管口処理を確実に行う。